

なるほど! わかった! 2018年度

# 戸田市のおさいふ

おさいふの中身を  
一緒に見よう!

戸市の財政案内人  
おさいふくん





# おさいふの 中身を見てみよう!

みなさんのご家庭でも家計という「お財布」があり、お給料などの「収入」のなかで計画的に食費などの「支出」をやりくりして、生活をしていますよね。

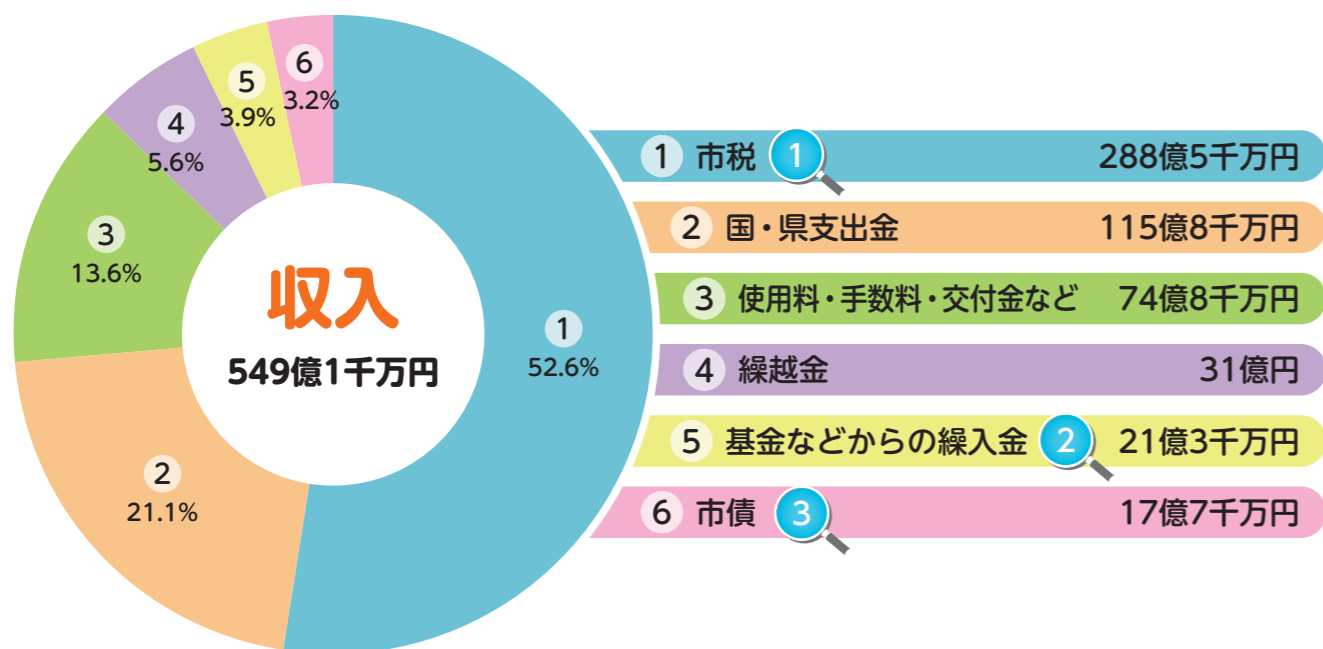
戸田市の「お財布」でも同じように、市税などの「収入(歳入)」のなかで、様々な「支出(歳出)」をして、市民生活が滞りなくまわるよう、計画的にやりくりをしています。

2017年度の「収入」と「支出」を詳しく見てみましょう。



## 戸田市の収入(歳入)

(2017年度 普通会計決算)



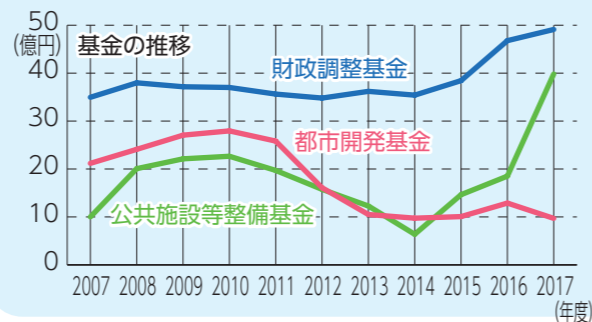
### Focus 1 市税は最も重要な財源

市税は、市の収入のおよそ5割を占めており、市が行う仕事を支える最も重要な財源となっています。個人の所得や会社の利益に応じて納める市民税や、土地や家屋などを所有している方が納める固定資産税など、さまざまな市税があります。



### Focus 2 安定して事業を行うために基金(貯金)を活用

家計でも貯金があるように、市にも貯金に相当する「基金」というものがあります。基金があることによって継続的に事業を進めていくことができます。また、災害などにより突発的な支出が生じたときや経済状況の変化により市の歳入が減収となったときの備えにもなります。



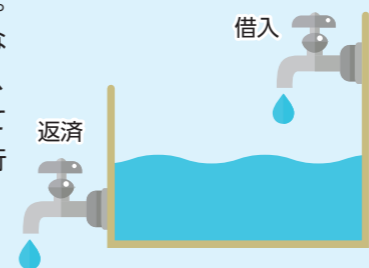
## 戸田市の支出(歳出)

(2017年度 普通会計決算)



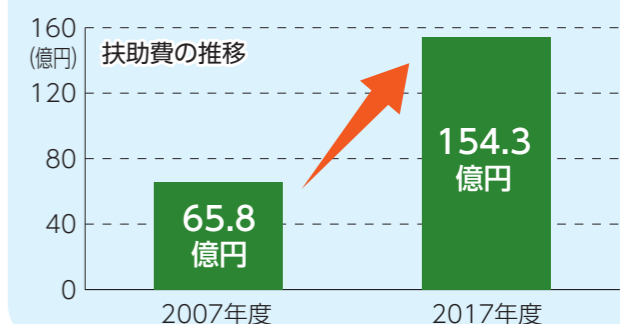
### Focus 3 市債(借入金)の活用と公債費(返済金)

家計でも住宅や車など大きな買い物をするときは、ローンを組んで買う場合があるように、市が大きな施設を建設するときなどは、「市債」という借金をしてお金を工面しています。市債を利用し、分割払いとすることで、現在の市民と将来の市民との負担を公平にすることができます。また、一度に大きな支出をしないので、他の事業と並行して公共施設の整備を行うことができます。



### Focus 4 扶助費は私たちの生活を支える基礎

約3割を占める扶助費とは、社会保障制度の一環として、児童、高齢者、障がい者、生活困窮者などに対して行う支援に要する経費のことです。近年、扶助費は増加傾向にあり、戸田市では、10年間で約2.3倍に増加しています。



戸田市の「おさいふ」がみなさんの生活の中にどのように使われているのかな? もう少し具体的に見てみよう!



## 保育園

市の負担 約25億円  
市民一人当たり 18,152円



多くの子どもたちが保育園へ通うことができるよう、保育園の施設や体制の整備を行っています。保育園の運営費は、保護者から支払っていただく保育料の他、国、県、市の負担によってまかなわれています。戸田市には、2018年4月1日現在、公立保育園と民間保育園、小規模保育施設など、合わせて53の認可保育施設があります。

## 学校給食

市の負担 約7億円  
市民一人当たり 5,015円



小学校12校と中学校6校に安心、安全でおいしい給食を提供しています。その費用の約4割は保護者から納めていただく給食費によってまかなわれています。

## 健康増進

市の負担 約1.4億円  
市民一人当たり 1,040円



市では、市民の健康増進を図り、健康寿命を延ばすことを目指して、がん検診の実施など、さまざまな健康増進事業を行っています。その一つとして、30歳以上の市民を対象として「健康づくりポイント事業」を実施しました。「健康づくりポイント事業」とは、ウォーキング、生活習慣の改善など、取組みの内容に応じてポイントが付与されるもので、ポイントを貯めると抽選で賞品が贈られます。

## 防災

市の負担 約1.2億円  
市民一人当たり 869円



市では、災害に備え、防災備蓄品の購入や資器材の整備を行っています。台風や豪雨などの災害に備え、市内17か所に設置された土のうステーションもその一つです。また、地域防災力の向上を目指し、防災訓練を実施する他、自主防災会やマンション、事業所が防災資器材を購入する際にその費用の一部を補助しています。

# 2017年度

### どんなことに いくらかかったのかな？

市の負担…2017年度決算額のうち、一般財源負担額  
(※国県補助金や使用料、分担金を除いた純粋な市の負担)

市民一人当たり…138,960人で計算  
(平成30年3月31日現在の人口)



## 公園

市の負担 約4.8億円  
市民一人当たり 3,482円



市内にある168か所の公園や緑地を安全に利用していただけるように、設備の点検や清掃などに取り組んでいます。2018年7月には荒川水循環センター上部公園がオープンしました。広々とした多目的広場やアスレチック広場、パークゴルフ場があり、子どもから大人までが楽しめる、憩いの場となっています。

## コミュニティバス toco

市の負担 約9,750万円  
市民一人当たり 701円



2001年に運行を開始して以来、身近な交通手段として市民の皆さんに親しまれています。現在は、市内を5路線のコミュニティバスが循環しています。料金は1回100円。市では、バス事業者に運行経費の一部を補助することで支えています。

## 図書館

市の負担 約3.5億円  
市民一人当たり 2,529円



図書館には、本館、上戸田分館、下戸田・美笹・下戸田南の3分室及び戸田公園駅前配本所の6か所のサービス拠点があります。一般書や児童書など約40万冊の蔵書があり、子どもから大人まで市民の学びの場となっています。※本館は、施設の長寿命化のための設備改修工事に伴い2020年3月まで休館しています。本館窓口業務の代替措置として、新曽福祉センター1階に新曽配本所を2020年3月下旬まで開設しています。

## 防犯対策

市の負担 約1.1億円  
市民一人当たり 798円



市内の防犯パトロールや2か所の安全ステーションの設置など、市民生活の安心・安全を守る取組みを行っています。その他、犯罪の発生しやすい危険な場所や不審者情報など、その地域の事情に詳しい町会や自治会が防犯カメラを設置するのにかかる費用を補助しています。

# おさいふのやりくりは 上手にできているのかな？

戸田市は、おさいふのやりくりが上手にできているのでしょうか。ここでは「健全化判断比率」と「プライマリーバランス」という指標で、戸田市の財政状況を見てみましょう。

CHECK!

## 健全化判断比率

健全化  
判断比率とは

地方公共団体の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するためのものとして定められた、以下の4つの指標のことをいいます。赤字額が増えたり、財政状況が厳しくなってきたことを表す「早期健全化基準」や「財政再生基準」を超えてしまうと、財政運営を大きく見直さなければなりません。

### 実質赤字比率

黒字

※早期健全化基準  
…11.86%

一般会計等に生じている赤字の大きさを、財政規模に対する割合で表したものです。

健全  
段階

### 連結実質赤字比率

黒字

※早期健全化基準  
…16.86%

水道などの公営企業も含め、すべての会計を合計した赤字の大きさを、財政規模に対する割合で表したものです。

健全  
段階

### 実質公債比率

4.3%

※早期健全化基準  
…25%

一般会計等の借入金の返済額の大きさを、財政規模に対する割合で表したものです。

健全  
段階

### 将来負担比率

30.9%

※早期健全化基準  
…350%

市債や、数年間にわたる契約により約束された支払い、土地開発公社の債務保証など、将来支払わなければならない負債を、財政規模に対する割合で表したものです。

健全  
段階

戸田市は、4つの指標すべてが「健全段階」です。

(2017年度決算)

CHECK!

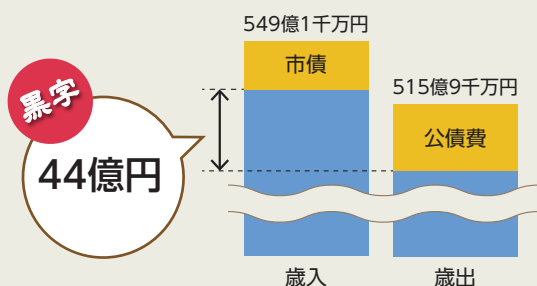
## プライマリーバランス (基礎的財政収支)

プライマリー  
バランスとは

市債（借金による収入）と公債費（借金の元金や利子を返済するための支出）を除いた収支のことです。

黒字の場合は、公債費以外の歳出を市債以外の歳入でまかなっていることになり、健全な状態といえます。一方、赤字の場合は、公債費以外の歳出について市債を発行しなければまかなえず、将来の世代に負担を先送りしている状態といえます。

プライマリーバランス (2017年度普通会計決算)

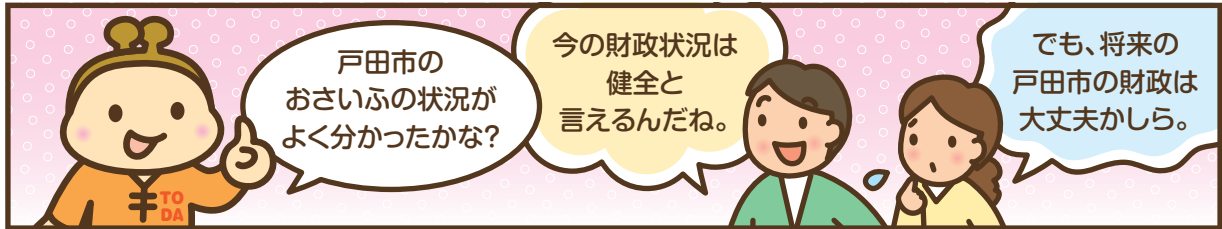
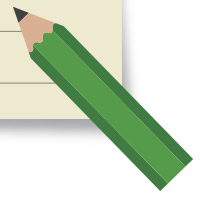


2017年度は、前年度に引き続き、プライマリーバランスは黒字を維持しています。

将来の世代にツケをまわさないために、戸田市では、プライマリーバランスに配慮した財政運営を行っています。



# 未来の戸田市について 今、考えよう!



戸田市では、健全な財政運営のために、こんなことをやっているんだよ!

## 1. 既存事業の見直し



これまでの事業を見直して、新しい行政ニーズや、より優先度の高い事業にお金を使えるようにしているよ!

時代も変わって、必要な行政サービスも変わってきているのね。

## 2. 貯金(基金)と借金(市債)をバランスよく



計画的に貯金をすることで、将来の出費に備えたり、公共施設の改修などに使っているよ。

借金するには、世代間の公平性という面もあるんだよね。

でも、なるべく子どもたちに負担をかけたくないわ。

貯金の取り崩しと、借金のバランスを取って、将来に過度な負担が残らないようにしているよ。

## 3. 公共施設ファシリティマネジメント

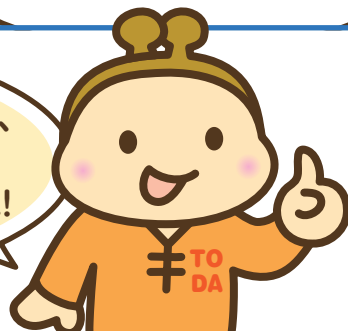


戸田市の公共施設の多くは昭和40年代から50年代に建てられていて、老朽化が進んできているよ。

計画的に更新、統廃合、改修をすることで、公共施設にかかるコストを平準化しようとしているんだ。

これからの公共施設のあり方を考えないといけないね。

将来にツケをまわさないよう、健全な財政運営を維持していくことが大切だね!



うん!



# 戸田市と競艇

1954年に戸田競艇組合（現在の戸田競艇企業団）が設立されて以来、競艇は戸田市の特色の一つとなっています。競艇による収入（競艇配分金）は、教育、福祉、消防など、幅広い分野に使われています。

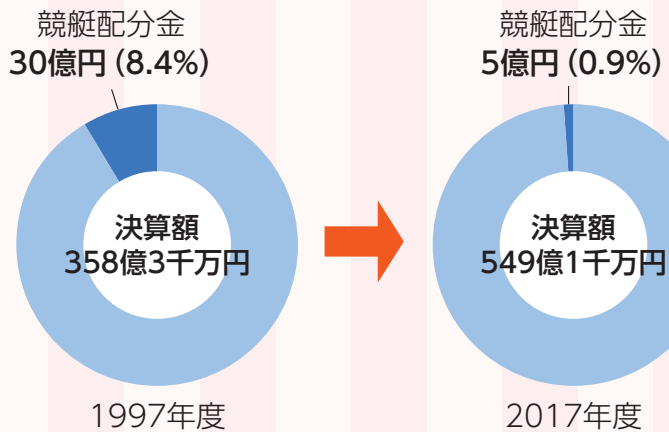


「戸田市は競艇の収入があるから大丈夫」とよく言われてきましたが、かつてと比較すると収益の減少等により競艇配分金の額も減少しています。

これからも競艇配分金の確保に努めていくとともに、貴重な財源として、市民生活に競艇配分金を活用していきます。

競艇配分金が豊かであった時代に始めた事業を見直していく必要があります。

決算額と競艇配分金の比率の推移



興味を持ったなら、ホームページにアクセスしてね！

戸田市の財政

検索



発行 ● 戸田市役所 財務部 財政課  
2018年12月

住所 ● 〒335-8588 埼玉県戸田市上戸田1-18-1  
電話 ● 048-441-1800 (内線415・416)